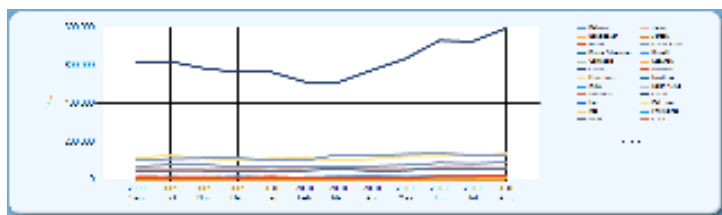


米国通関統計 8月度輸入実績

アジア発の米国輸入は7月実績より 7.8%増加



Zepol Corporation (本社・米国ミネアポリス www.zepol.com) は、9月7日、米国税関AMS データに基づき、8月度海上輸入実績を:+7.83%と発表しました。

その中でアジア主要10カ国(中国、韓国、香港、台湾、日本、シンガポール、タイ、インド、マレーシア、ベトナム)からのコンテナ本数(TEU)実績は、横ばいだった7月に比べて+7.8%、昨年同月比では+25.2%と増加を示しました。ただし、日本発の8月実績は前月比-0.9%と横ばいでした。(Fig.1 参照)

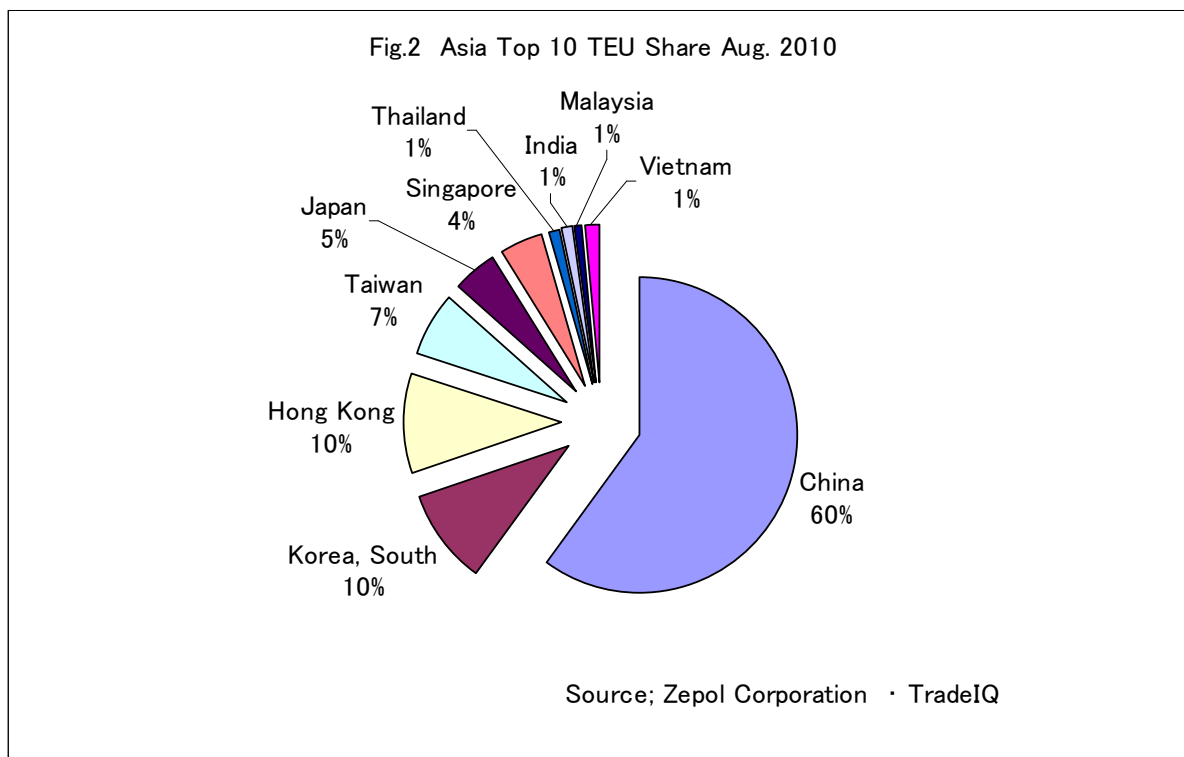
Fig.1; USA Import from asia- August 2010			
Loading Port_Region	August 2010 (TEU)	Change Over July'	Change Over Aug.09/
1. China	794,107	9.6%	15.23%
2.Korea, South	129,951	10.3%	13.4%
3. Hong Kong	134,665	10.7%	10.4%
4. Taiwan	88,384	10.0%	19.0%
5. Japan	60,897	-0.9%	10.8%
6. Singapore	58,434	12.0%	14.8%
7. Thailand	15,585	6.8%	39.6%
8. India	13,686	7.4%	38.6%
9. Vietnam	18,711	28.9%	225.7%
10. Malaysia	10,711	8.0%	-26.2%
. Top 10 Total	1,325,131	7,8%	25.2%

Source; Zepol Corporation-TradeIQ*

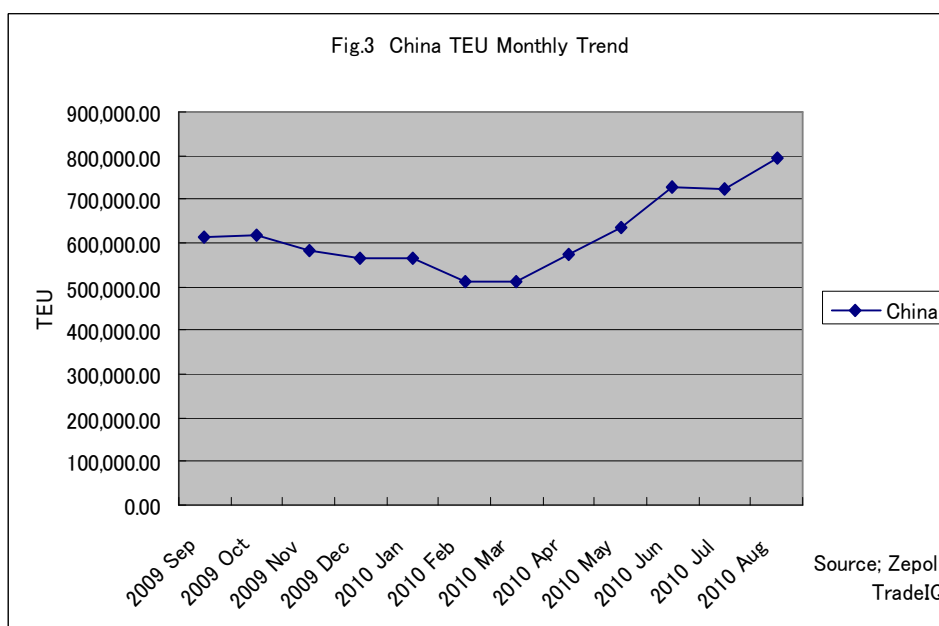
*Note ; Zepol TradeIQ は、米国税関から公表される AMS(Automated Manifest System) B/L 記載データを Zepol 独自開発の検索エンジンによりデータベース化した米国貿易統計データです。毎日数万件に及ぶ B/L 情報に、パソコンから簡単にアクセスし、検索・ダウンロードが可能で、2003 年以来、幅広く活用されている分析ツールです。(www.zepol.com 参照)

アジア10カ国をさらに詳しく比較すると次の点が注目されます。

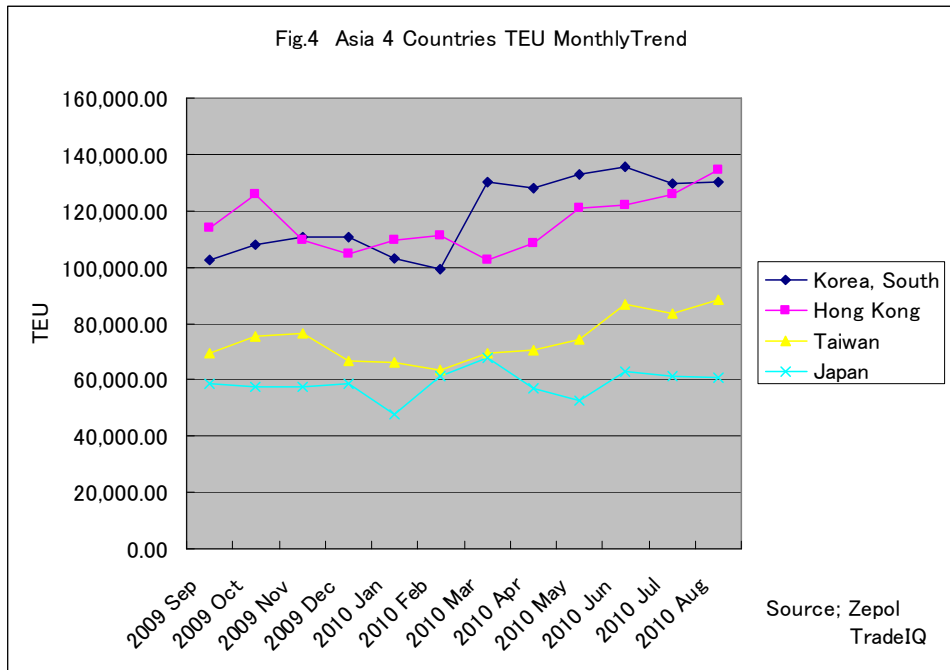
- アジア10カ国からのコンテナ貨物量 TEU シェアは、中国を追う4カ国（韓国、日本、香港、台湾）がシェア順位を争う形で推移しています。(Fig. 2 参照)



- 中国と4カ国（韓国、香港、台湾、日本）の TEU の月別推移を見ると、韓国、と香港が日本を越えて、2-3位争いをしている形です。(Fig.3, Fig.4 参照)

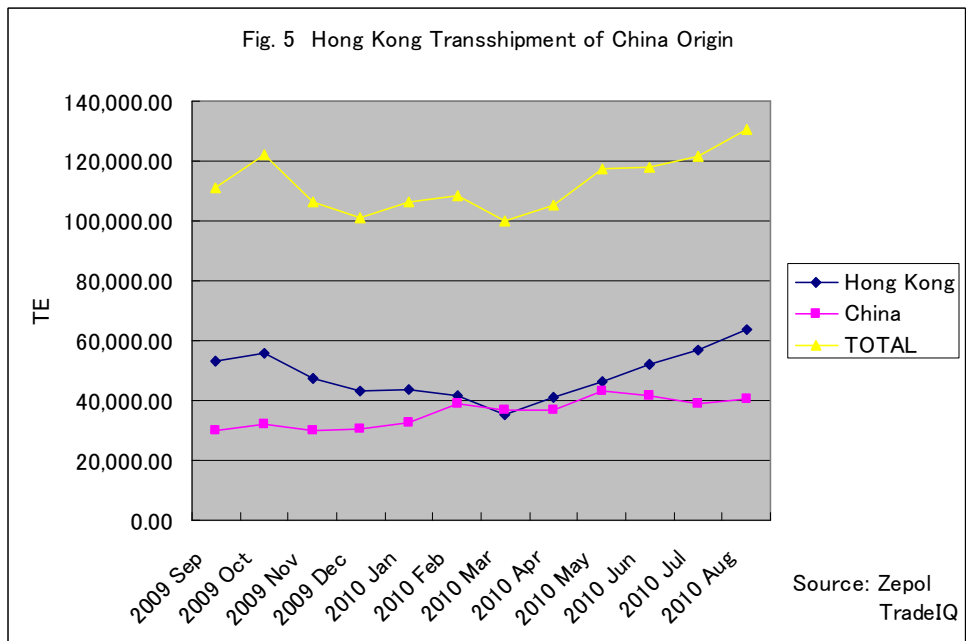


(2)



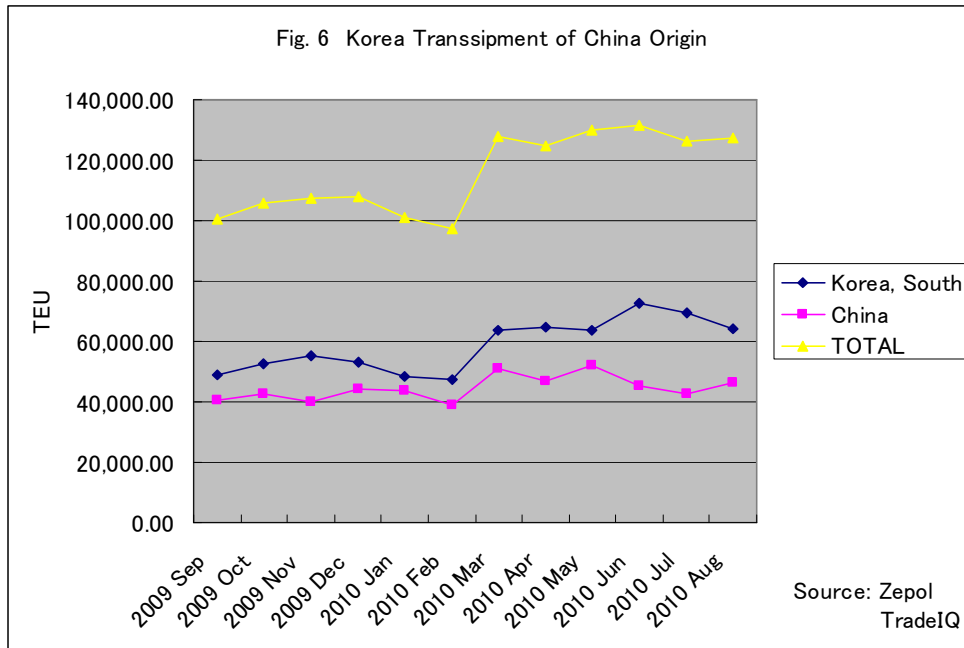
- 香港と韓国からの輸出実績について注目されるのは、トランシップ (Transshipment) の占める割合が大きく、自国以外の場所を荷受地 (Place of Receipt) とする貨物が、香港の場合 52%、韓国の場合も 50% (8月実績) あり特に中国からのトランシップが香港の場合で 36%、韓国では 22% (同上) を占めています。

両国について、その推移を月別に分析したものが下記のチャート (Fig. 5, Fig. 6) です。 B/L 上の Port of Loading (積地港) ベースの輸出実績 Total と、内訳として Place of Receipt (荷受地) をベースに中国からのトランシップ TEU の推移を示しています。同時に両国の自国分の実績もそれぞれ示されています。



(3)

香港の場合、歴史的にも Entrepot Trade は伝統的な発展基盤ですが、現在の対米 TEU 月別推移(Fig.5)を見ると、中国からのトランシップの伸びは中国全体の成長カーブ(Fig. 3)には連動しないで、ほぼ横ばいの状態です。因みに中国以外のアジア諸国からのトランシップはベトナム、タイ、インドネシア、マレーシアなどが残り(22%)の上位を占めています。



韓国は釜山港を背景に、中国からのトランシップ量(Fig. 6)が、香港における中国分(Fig. 5)とほぼ同じ量(4 - 5 万 TEU)で推移しています。因みに日本(主に博多港)からのトランシップは2番目のシェア(約 5%)を占め、残りはベトナム、インドネシア、台湾などがつづき、韓国発米国向け TEU の半分がトランスシップ分で構成され、アジアのハブ港の役割を果たしています。

- 対米輸出アジア Top 5 (中国、韓国、香港、台湾、日本) の TEU シェアを比較するとき、Port of Loading (積出港) ベースの統計 (Fig. 1)を、上記のように Place of Receipt (荷受地) ベースに置き換えてみると、香港、韓国、のシェアは下がり、日本、台湾との4カ国間のシェアは接近します。勿論、中国のシェアは更に大きくなり、Top 5 の間では 77% (日本は8%) となります。(8./11/2010 付け Zepol ニュースリリース 参照)

以上

本件に関するお問い合わせ先：

日本：Zepol Japan mnanseki@zepol.jp

米国：Zepol Corp kevin.palmastein@zepol.com

(4)